

大阪ガスグループの沿革

明治	
30(1897)年	資本金35万円をもって設立
38(1905)年	岩崎工場を設立し、ガスの供給開始 (顧客数3,351戸)
昭和	
8(1933)年	本社ビル竣工
15(1940)年	西島工場完成
25(1950)年	京阪連絡管完成(現第1京阪線)
27(1952)年	阪神連絡管完成(現第1阪神線)
30(1955)年	第1回「ガス展」を開催
33(1958)年	ガス自動炊飯器発売 お客さま数100万戸突破
39(1964)年	京阪神地区のカロリーアップ実施 (3,600kcal/m ³ から4,500kcal/m ³)
41(1966)年	お客さま数200万戸突破
42(1967)年	神戸市立中央体育館のガスエンジン式冷房 第1号機運転開始
44(1969)年	ガス吸収冷温水機第1号機を大阪塗料会館に納入
45(1970)年	千里中央地区で日本初の地域冷暖房事業開始 近畿幹線第1西部ライン完成
46(1971)年	泉北工場操業開始 お客さま数300万戸突破
47(1972)年	ブルネイLNG導入開始 近畿幹線第1東部ライン完成
50(1975)年	天然ガス転換開始 (4,500kcal/m ³ から11,000kcal/m ³)
52(1977)年	泉北製造所第二工場操業開始 インドネシアLNG導入開始
53(1978)年	近畿幹線第2東部ライン完成 お客さま数400万戸突破
54(1979)年	世界初の冷熱発電用プラント操業
56(1981)年	米国のブルックリン・ユニオン・ガス社と 技術交流契約を結ぶ
57(1982)年	「ガス科学館」開館 コージェネレーションシステム第1号機を ニチイ加古川店に納入
59(1984)年	ロンドン事務所開設 姫路製造所操業開始
62(1987)年	マイコンメーター導入開始
63(1988)年	お客さま数500万戸突破

平成	
元(1989)年	近畿幹線第2西部ライン全線開通 オーストラリアLNG導入開始 「(株)アーバネックス」設立
2(1990)年	天然ガス転換完了
3(1991)年	「(株)リキッドガス」と「大阪ガスケミカル(株)」を設立 生活誕生館「DILIPA」開館
4(1992)年	「(株)オージス総研」設立
6(1994)年	近畿幹線第3西部ライン完成 西島製造所コークス炉停止
7(1995)年	阪神・淡路大震災発生 (約86万戸の都市ガス供給を停止) マレーシアLNG導入開始
8(1996)年	原料費調整(スライド)料金制度スタート
9(1997)年	一般家庭にマイコンメーター取り付け完了 お客さま数600万戸突破
10(1998)年	カタールLNG導入開始
11(1999)年	初の自己株式消却を実施
12(2000)年	大口ガス事業向け「接続供給約款」の届け出 「日商岩井石油ガス(株)(現:日商LPガス(株))」編入 オマーンLNG導入開始
15(2003)年	供給ガスの熱量変更(11,000kcal/m ³ から 10,750kcal/m ³ (45MJ/m ³)) 家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム 「エコウィル」の発売 近畿幹線京滋ライン・姫路ライン完成
16(2004)年	米国IPP事業及びスペインIPP事業に参画 姫路製造所の発電設備が営業運転開始
17(2005)年	創業100周年 新ブランドスローガン 「Design Your Energy 夢ある明日を」を発表 エコウィル販売台数が1万台突破
18(2006)年	近畿幹線滋賀ライン完成
21(2009)年	泉北天然ガス発電所運転開始 家庭用燃料電池コージェネレーション システム「エネファーム」の発売
23(2011)年	お客さま数700万戸突破